

科目群	科目区分等	科目名	担当教員名	対象学年次	学期
専門科目	1単位 保育の対象の 理解	保育の心理学Ⅱ	成田 小百合	1年次	秋

授業のキーワード	子ども 心理 発達援助
授業の概要	子どもの心身の状態や発達を把握する技術を高め、保育の具体的な場面で、個と集団の育ちを踏まえ、より質の高い子どもの発達援助を行う実践力を修得する。
期待される学習成果（目標）	保育場面や日常生活で子どもにおける臨床発達にまつわる実践的な心理学の知識が深まる学習効果がある。

授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	発達していくこと (1)	ことばの始まりと表象・イメージ	第9講	適応の理解と支援 - 適応の評価 (1)	保育者による子どもの日常の評価手段
第2講	発達していくこと (2)	見えるものから見えないものへ	第10講	適応の理解と支援 - 適応の評価 (2)	保育者による子どもの日常の評価手段
第3講	障がいとその周辺 - 障がいを生きるということ (1)	発達の遅れを生きること	第11講	保育者の成長	保育者の精神衛生
第4講	障がいとその周辺 - 障がいを生きるということ (2)	自閉症スペクトラムを生きること	第12講	保育実践の問題点 (1)	子どもと死、曖昧な喪失
第5講	適応の理解と支援 - 自立と社会性の学び (1)	虐待	第13講	保育実践の問題点 (2)	キレやすい子どもへの関わり
第6講	適応の理解と支援 - 自立と社会性の学び (2)	仲間関係	第14講	保育実践の問題点 (3)	子どもの自己肯定感、自信を失った子どもへの関わり
第7講	適応の理解と支援 - 子どもを支える (1)	心の「病」を理解する	第15講	保育実践の問題点 (4)	自閉傾向の子どもとアタッチメント
第8講	適応の理解と支援 - 子どもを支える (2)	悩みを受けとめ支える	定期試験		保育の心理学と保育実践に関わる基本的な知識や問題意識に関する記述式試験を実施する。
評価方法	授業貢献度 20% 課題レポート 20% 定期試験 60%				
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
適宜プリントを配布します			「子どもとかかわる人のための心理学」 萌文書林		